会議議事録

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名 | 令和５年度「職業実践専門課程等を通じた専修学校の質保証・向上の推進」事業  （２）教職員の資質能力向上の推進　①効果的な教育成果の公開方法等に関する支援体制づくりの推進 |
| 代表校 | 一般社団法人全国専門学校教育研究会 |

|  |  |
| --- | --- |
| 会議名 | 第6回事業推進委員会 |
| 開催日時 | 令和6年2月6日（火）15:00～17:00 |
| 場所 | 学校法人麻生塾　10号館会議室 |
| 出席者 | 委　　員：五十部　昌克、沖　直彦、谷　昌一、林　宏治、  　　　　　松田　義弘、稲永　由紀、菊田　薫（OL）、  松本　晴輝（OL）、山根　大助（OL）、氏部　正（OL）  鈴木　弘明（OL）、岡村　慎一（OL）　　　 計12名  請負業者：飯塚　正成、八木　信幸　　　　　　　　 　計2名  　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 合計14名 |
| 議題等 | 〇令和５年度事業振り返り（五十部）  ◯ヒアリング調査  ・ヒアリング調査は11校２団体に実施  ・協力校に関しては、現在対象校にて確認中  ・調査原稿についてK B C学園、熊本電子、国際ダンス・エンタテイメント専門学校からは了解を得ている。  ◯成果物作成について（五十部）  ・スケジュールについて、飯塚さんからお示しいただきたい。（五十部）  ・文部科学省への実績報告は3月11日となります。（飯塚）  ・原稿の作成については2月20日に完全版下作成をお願いいたします。（飯塚）  ・原稿作成までの段取りなどについては委員会、執筆者にてスケジュールングしてほしい。（飯塚）  ・YouTubeとHPに掲載するすべての動画・コンテンツ3月11日には完成と理解してください。  ・報告書の印刷は何冊するのか？（菊田）  ・現状は、アンケートにお答えいただいた学校を主体として役500冊程度と考えている。この件については、予算との兼ね合いもあるので、五十部委員長と飯塚である程度コントロールさせてほしい。（飯塚）  ・全会了解。  ◯令和６年度事業計画について意見交換（五十部）  ・学校関係者評価に関しては、日程を検討しながら行なってほしい。  1度しか実施していないところなどが多いため効果的に実施するためです。（林）  ・学校関係者評価は各学校によって回数が違ったりするのでその辺りを考慮したらどうか。（鈴木）  ・学校関係者評価は１回で良い。ただし2回と指導する都道府県もあるようだ。この本質について議論して、いく必要があると思う。（林）  ・学校関係者評価だけではなく、自己点検評価などを組み合わせて関係性などを明らかにして表現した方が良い。（稲永）  ・中期計画の手順書の策定は、どれくらいのレベル・内容を想定されているのか？（松田）  ・この点については、この後改めて別の議題でお話しさせてください。（五十部）  ◯自己点検評価の評価表の修正及び運用ガイドラインについて（五十部）  ・今回の改訂については、前回の委員会で出た通り、中期計画の大きな部分を導入していく。中期計画を作っているか？理事会で決済しているかなどを入れていく。（五十部）  ・また、自己点検評価を学校側がどのように運用していくのかをガイドラインとしていく。（五十部）  ◯中期計画策定に関する調査取りまとめについて（五十部）  ・中期計画の策定意図について冒頭で取りまとめている。手元の資料でご覧になってご意見を頂戴したい。  ・私立大学の約３割が定員割れと記載があるが、日経新聞は５割を超えているとなっているが、これはいかがなものか。引用文献について送っておくので検討してほしい。（林）  ・客観的なデータは事業団にあるので、それをベースに考えれば良いと思います。（菊田）  ・大学の考え方に依存せず、専門学校独自の生き残りのために必要性を訴える方がいいと思う。（菊田）  ・私も菊田さんと同じ考えです。（松田）  ・職業実践のPDCAと中期計画の関係性を盛り込んでおいた方がいいと思った、（岡村）  ・将来を見据えた、学校経営という観点からという点で同意しる。（林）  ・教育の継続についても触れると良いと思う。（松本）  ・誰に見せることを前提したことにするのか？不特定多数を対象とした公開なのか、、、（沖）  ◯報告書の流れ  ・私立大学の中期計画→国立大学の中期計画を参考資料として事前に明記した。その後、ヒアリング調査の流れとしている。（五十部）  ・ポイントは、以下の５点。   1. 中期計画で重視されている内容 2. 中期計画の共通理解の必要性と公開について 3. 中期計画の達成度評価と喪直しについて 4. 中期計画の策定・評価における理事会・評議員会の役割 5. 中期計画策定のプロセスについて   ・私大連を選んだ理由はあるのか？私大協の方が先に報告書が上がっているはずです。（稲永）  ・協会も連盟も両方ガバナンスコードは作っている。もし参考にするならば協会の方がいい気がします。（菊田）  ・大学には研究がある。専門学校にはこの観点はあまり多くない。専門学校の特徴としては、社会への貢献や人材育成という観点の中期計画のあたりを入れてはどうか？国試の合格などではなく社会貢献のようなものが入るのが理想的に感じる。（岡村）  ・中期計画の年数も大学にように５年で合わせる必要もないと思う。（岡村）  ・職業教育のマネジメントと職業教育でない教育のマネジメントが大学である。やはり専門学校の独自性を出すべきである。（稲永）  ・企業連携のようなものをもっと正面から出していくことが重要だと考える。計画的・中長期的に考えていくことが重要と考える。（谷）  ・中期計画と自己点検評価のサイクルが違うので、どのように対処するかが難しいところだと考えている。（五十部）  ・中期計画について理事会・評議員会が関与していないなどはあり得ない。こうした意思決定期間については強く記載するべきだ。共通理解との関連性も必要だと考える。（菊田）  ・この調査の取りまとめは、現状分析をするための調査なのかがはっきりしていない。誘導的な結果を現場で出す必要はないのではないか（稲永）  ・理事会とか評議員会とかは、役割という表現で書くのはどうか（林）  ・次年度成果物を出すための調査なのか？客観的な評価結果を出していくのかを明確にする。（氏部） |
| 配布資料 | ・第6回事業推進委員会議題  ・中期計画策定に関する調査報告書 |

以上